



本年度の運動会テーマは、「心を一つに 一生けん命 がんばろう」です。
子どもたちは、練習の時から、このテーマのままの姿を見せてくれています。
全体練習では、5・6年生が動きの見本を示し、その姿を他の学年は真似ています。
4年生が隊列の基準となり、他の学年が黙って横列をそろえます。それぞれの場面で、
それぞれが果たすべき役割を担い、周りは黙ってその姿に合わせていく。「心を一つ」
にしていないと見ることができない姿です。



↑ 運動会テーマ
詳細はブログで



【朝の練習風景から】

子どもたち同士で伸びていく

4・5・6年生は「2024 本山っ子ソーラン」を披露します。この練習でも主役は子どもたちです。6年生が4・5年生にダンスの手本を示し、動き方を教えてくれています。

子どもたち同士だから、相手がどこに困っているかもよく分かる。どのようにしたらうまくできるかも、身をもって知っている。教える側は相手を思い、教わる側は相手を信頼する。ここにも「心を一つ」にしている姿があります。

運動会練習が始まりました。6年生がダンスの指導をしてくれていて、本当に感心します。子ども同士の言葉の方が伝わることもあり、4年生の子どもどんどん上達しています。あこがれの存在が身近にいてくれてありがたいなと思います。
(ある教員の手記より)

「おもいやりテント」を設置します

昨年度の運動会では、「地域の方の観覧のテントがなく、応援するときに日差しがきつかった」という声をいただきました。今年も学校のテントは数に限りがあるため困っていたところ、体協役員の方々が「それなら地域のテントをお貸ししますよ」とおっしゃってくださいました。

そこで、自治会等関係なく、体調に不安のある方や、小さなお子様をお連れの方等を優先に、譲り合いながらだれでも使える「おもいやりテント」を設置する予定です。

体協役員の方々の「思いやり」に支えられて設置される「おもいやりテント」。当日、地域の皆様方が思い合いながら使われる「おもいやりテント」。元気であたたかい運動会になりそうです。

なお、テント設置についての詳細は、9日の体協の会で打ち合わせを行います。テント張りにあたっては、保護者や地域の方々のお力添えをいただくことがあるかと思いますが、ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

